

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会	<p>定刻になりましたので、始めます。</p> <p>本日の司会進行を務めます久喜市教育委員会指導課の山本でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の第2回久喜市教科用図書選定委員会につきましては、選定委員5名のうち4名の出席でございます。従いまして、久喜市立小中学校使用教科用図書の採択に関する規則第7条第2項の規定により出席者が3分の2を超えておりますので、本会議は成立いたします。</p> <p>それでは初めに、開会のことばを 選定委員 籠宮 賢治様、お願いいたします。</p>
副委員長	<p>ただいまより令和5年度 第2回久喜市教科用図書選定委員会を開会いたします。</p>
司会	<p>御挨拶を賜ります。</p> <p>久喜市教科用図書選定委員会副委員長 富山 司 様 お願いいたします。</p>
副委員長	挨拶
司会	<p>ありがとうございました。それでは、初めに資料の確認をいたします。資料は全部で紙ベースのもの、端末ベースのもの4種類ございます。</p> <p>1点目、令和5年度第2回久喜市教科用図書選定委員会会議資料。こちらがクラスルームの方に掲載されております。</p> <p>2点目としまして、専門部会資料の調査研究報告書。こちら紙ベースのものとなっております。</p> <p>3番目学校調査結果。こちらクリアファイルの中に同封されているものでございます。</p> <p>4点目に投票用紙。こちらはGoogleフォームの方になっております。</p> <p>以上でございます。不足がございましたらお声がけいただければ幸いです。</p>
司会	<p>本来であれば「久喜市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則」第7条の規定にしたがいまして、議長を選定委員会委員長の 金子正 様をお願いするところではございますが、本日御欠席のため、同規則第6条の規定にしたがいまして、議長を副委員長の 富山 司 様 お願いしたいと存じます。よろしく願い申し上げます。</p>
議長	<p>それでは、着座にて失礼いたします。金子委員長に変わりました議長を務めさせていただきます。お手元の次第にしたがって、議事を進めさせていただきます。</p>
議長	<p>まず初めに、「選定にあたって」事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>それでは端末の方でございます会議資料をご覧ください。</p> <p>選定の手順について御説明いたします。</p> <p>まず「各学校における調査研究の結果」及び「展示会アンケートの扱い」について御説明いたします。</p> <p>次に、小学校各教科の調査研究専門部会長による調査研究報告がございました。</p> <p>その後、質疑、応答の時間をお取りします。それが終わりましたら、専門部会長は退室し、皆さんに協議、そして、投票フォームに点数を入力していただきます。</p> <p>各出版社を5点満点で採点していただきます。本日は選定委員が4名ですから、20点が満点となります。すべての教科の報告、協議、採点、投票が終了してから投票結果を集計し、皆様に報告いたします。</p> <p>その「投票結果」「各学校における調査研究の結果」及び「展示会アンケート」を資料といたしまして、久喜市教育委員会令和5年7月定例会に提出いたします。なお、本年度保護者による展示会アンケートの提出はなかったため、</p>

段に学習活動の展開、下段にノート例や対話例など具体的な学びの姿を示すなど、学習が見渡せるようにする工夫がありました。また、巻頭に、デジタルノートの使い方を示すなど、ICTの積極的な活用を促す工夫がされています。

次に、「教育出版（ひろがる言葉）」について報告します。

「内容」では、知識及び技能が習得されるようにするために、学習のポイントや学習用語を「ここが大事」でまとめて解説し、「学習のてびき」や巻末で、語彙の拡充や話型・文型のまとめなどを取り上げたり、情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりすることができる教材を複数設けるなどの工夫が見られました。

思考力・判断力・表現力等を育成するためには、「話すこと・聞くこと」で、年度初めにゲーム的要素を取り入れた活動を行ったり、話し方だけでなく、聞き方を重点化した教材を設置したり、「読むこと」と「書くこと」「話すこと・聞くこと」とを関連づけたりするなどの工夫が見られました。

学びに向かう力などを育成するための工夫としては、学習の流れを視覚的に示すことで学習者に「見通し」をもたせ、日常生活に即した言語活動と、「ふり返ろう」によって深い学びが自覚できるよう工夫するなどの工夫が見られました。

読書に親しむ態度を育成するためには、学校図書館を計画的に利用しするための「情報活用教材」と図書紹介を中心とした交流活動を行う「読書交流教材」を全学年で設けるなどの工夫がありました。

「資料」としては、QRコードを読み取ることで、教科書の内容に連動したコンテンツをウェブサイト上で閲覧、利用することができるように工夫されています。巻末は、「ここが大事」など、系統的に整理され、工夫されています。

「総括」としては、「生きてはたらく言葉の力」を身につけられるよう、日常生活や学校生活に関連した題材を設定し、「学習のてびき」の中に、学習活動を支える図解や児童の反応例を掲載するなど、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がありました。また、巻頭に、ゲームを取り入れるなど、積極的に言葉に親しむ活動の工夫がされています。

次に、「光村図書（国語）」について報告します。

「内容」では、知識及び技能が習得されるようにするために、「言葉の宝箱」として、3つのカテゴリーを設け、論理展開を明確にして伝えるための語句は「伝え合うための言葉」として示し、「情報の扱い方に関する事項」に特化した情報教材を整理し、各領域の学習活動と関連させたり、思考ツールを提示したりするなどの工夫が見られました。

思考力・判断力・表現力等を育成するためには、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、アイスブレイクなどの活動を取り入れて意欲を高めたり、「読むこと」では、身の回りの情報を読む力を伸ばし、学んだ読み方を活用する場を設けたりするなどの工夫が見られました。

学びに向かう力などを育成するための工夫としては、「問い」を学びの出発点とし、個別最適な学び、協働的な学びから学びを深め、振り返り、次の学びにつなげるといった学びの流れを視覚化することで見通しを持たせるなどの工夫が見られました。

読書に親しむ態度を育成するためには、学校図書館などに関連した教材を設定し、テーマや必要な情報に合った本の探し方等を、写真を用いてわかりやすく伝え、日常的に多読を促すなどがありました。

「資料」としては、QRコードを読み取ることで、教科書の内容に連動したコンテンツを閲覧、利用することができるように工夫されています。巻末に「言葉の宝箱」などを掲載し、語彙力を高める工夫が見られます。

「総括」としては、「問いをもつ」ことを念頭に、ゴールや振り返りの視点を明確にし、学習のページは、二段構成で上段に活動の流れ、下段に学習ポイントが書かくななど、学習を進めやすくする工夫がありました。また、巻頭に、学習の進め方を視覚的に提示し、年間を通して続けていきたい活動の掲載などの工夫がありました。

以上で、国語科専門部会からの報告を終わります。

れ、自分の文字や生き方について考えを深められるようになっていきます。

次に、〈毛筆と硬筆との関連〉です。

どの教科書会社も、1・2年生には水書用紙が収録されており、活用する場面も示されています。また、毛筆で学習するポイントを硬筆でも確認できる欄が設けられています。

次に、〈各教科や日常生活との関わり〉です。

各教科書会社とも、工夫して、横書き・ローマ字を含め、観察カード、リーフレット、手紙、新聞、原稿用紙やノートの使い方、新聞の書き方等、各教科の学習活動や日常生活に生かすことのできる教材を各学年に設けてあります。

東京書籍では、「文字といっしょに」の単元で、古典や漢詩など、教育出版では、「知りたい文字の世界」の単元で「漢字の成り立ち」や「手書き文字と活字」など、様々な観点から「文字文化」に触れることができます。光村図書では、5・6年生の教材で、情報を分かりやすく伝えるために文字の大きさや配列について考え、新聞やポスターの作成などに生かせるようにしています。

次に、【資料】についてです。

どの教科書会社も、鉛筆の持ち方が右利き用、左利き用の両方とも示されていたり、QRコードから入ると、動画や資料等工夫された内容があったりします。

東京書籍では、漢字の話、俳句、百人一首、世界の文字、漢文「論語」などの記載があり、伝統と文化を尊重する態度が養えるよう配慮されています。教育出版では、水書学習や毛筆学習の導入アニメーションがあり、ワクワク感をもって学習に臨めるようにしています。光村図書は、1年生に「スタートブック」が設けてあり、基本的な内容が丁寧に示されています。

次に、【表記・表現】についてです。

東京書籍では、学習ごとに「書写のかぎ」を設けて学習の内容を端的に説明し、3年生以上は、キーワードを色分けし、目立たせる工夫をしています。教育出版は、吹き出しを使用し、キャラクターがポイントを伝え、特に大切なポイントは「ここが大切」というコーナーを作り学習内容をまとめています。光村図書は、毛筆の送筆から終筆にかけての筆記用具の動かし方の説明が分かりやすいです。

最後に、【総括】といたしましては、総じて、学習指導要領のねらう「学びに向かう力、人間性」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」の育成に配慮した工夫がみられています。

東京書籍は、めあての達成に向けて「書写のかぎ」など取り組みやすい工夫があり、色使いも淡く、気持ちを落ち着けて学習に取り組めそうです。教育出版は、「めあて」「考えよう」「ふりかえろう」と学習の流れが示されており、学習の見通しが立てやすくなっています。光村図書は、「スタートブック」「筆の動かし方」など基本が押さえやすく、大切なポイントも簡潔にまとめられ、指導事項が分かりやすくなっています。

また、どの出版社も、動画で学ぶ工夫があり、教科書の機能が進化しています。

以上で、報告を終わりにいたします。

議長

ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。

委員

書く姿勢の指導などで、何か各社の特徴はありますか。

書写部会長

書く姿勢につきましては、写真入りで姿勢であったり、机上の整理であったりあるいは筆の持ち方というのが載っております。また、QRコードでもその様子を見ることができるようになっています。さらに、右手用左手用と全ての児童に対応できるように工夫されています。

議長

よろしいですか。

<p>委員</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<p>はい。</p> <p>他にございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>初めて1年生が書初め、書写を始めるとは思いますが、各会社とも、とても丁寧に説明があったり、先程の説明で動画もあったりするというので、児童が取り組みやすいようになっているのが素晴らしいと思いました。</p> <p>ありがとうございます。その他ございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>社会科部会長</p>	<p>次に、社会となります。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>社会科各教科用図書について説明いたします。 東京書籍「新しい社会」です。学習指導要領との関わりについてです。 「社会的な見方・考え方」を働かせた深い学びができるよう、学習内容に応じて①位置や広がり、②時間、③関わり、④比較・分類・総合・関連付けて考える視点が適所に示されています。 また、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の問題解決的な学習段階が示され、分かりやすく学習を進めることができます。 内容についてです。 「学び方コーナー」が適所に設けられ、具体的な学習技能や方法、資料の見方や読み取り方、調べ方、まとめ方が提示されており、知識・技能が確実な定着が図れるようになっています。 資料についてです。 児童の学びに向かう意欲を高める多様なQRコンテンツが用意されています。授業導入の動画やワークシート、学び方の解説動画、クイズ、写真、イラスト等です。 「〇〇さんの話」コーナーを随所に設け、様々な仕事や社会的活動に関わる人の姿を取り上げ、共感的に人の生き方を学ぶことができるようになっています。キャリア教育、社会参画意識の向上にも活用ができます。 表記・表現についてです。 全学年で「学びのポイント」として学習活動が例示され、何を重視して学習を進めていけばよいか、配慮されています。また、児童の気づきや疑問、学習問題、学習のまとめなどが例として示され、習得した知識を定着させる工夫がされています。 総括です。 単元全体の学習問題、小単元の学習課題、毎時間の学習のめあて、学習のまとめに向かう問いかけなどが充実しており、問題解決的な学習を進められます。 「見方・考え方」、「学びのポイント」等が適所に示され、児童の問題解決が進め配慮がされています。また、資料及びQRコンテンツが充実されており、様々な場面での活用と児童の新しいな疑問を引き出す内容になっています。 5、6年生の教科書については上下分冊として、使いやすさと重量負担に配</p>

慮しています。

教育出版の「小学社会」です。

学習指導要領との関わりについてです。

学習の問いが初めに示され、探究的な学習が進められるような構成になっています。巻頭ページには「社会的な見方・考え方」について例示がされています。また、単元の終わりには対話的な学びが推進されるよう、学習方法などの例示がされています。

内容についてです。

単元ごとにインデックスで「つかむ」「調べる」「まとめる」学習段階が示されており、現在の学習がどの段階にあるのかをつかみやすくなっています。

資料についてです。

デジタルコンテンツが多く設けられており、学習内容を視覚的に学ぶことが可能となっています。内容的にも、児童の学びを補完する内容となっており、文章と関連した図や表、グラフが分かりやすく示されています。

資料が一つ一つ大きく示され、また、デジタルコンテンツにおいてクイズが用意されるなど、児童の学びに向かう意欲を高める配慮がされています。また、人物のインタビューが多数掲載され、社会とのつながりを強く意識できるようになっています。

表記・表現についてです。

「つなげる」場面において、学習内容を深めるために、振り返りの仕方などが会話文として分かりやすく示されている。

文中にも会話文を用いて進められる部分があり、対話を通してより自然に、児童が疑問をもったり、答えを思考したりできるようになっています。

総括です。

デジタル資料が効果的に配置されており、児童が意欲的に学ぶことができる内容になっています。また、社会科の学習の進め方や社会的な見方・考え方が明示されており、児童が見通しをもって学習を進めることができるようになっています。キーワードについても詳細な説明がされ、必要な知識・技能等の定着が図れます。

日本文教出版の「小学社会」です。

学習指導要領との関わりについてです。

社会的な見方・考え方のコーナーが充実しており、QRコードを読み取ると、ワークシートに進み、社会的な事象に対して、具体的にどんな視点で考えればよいかが示されています。

巻頭ページには、前学年の学習内容の振り返りと社会科の学習の進め方が具体的に示されており、学習への見通しや期待感がもてるように工夫されています。巻末ページには該当学年の学習内容が具体的に振り返れるようになっています。

内容についてです。

学び方・調べ方コーナーが充実しており、観察や調査、資料の読み取りや活用、表現活動に関わる技能の習得がしやすくなっています。

資料についてです。

QRコードが随所に配置され、リンク先もワークシートやNHK FOR SCHOOLの関連動画、資料など多岐にわたっています。

SDGsとの関連資料が豊富に示されています。

表記・表現についてです。

キャラクターのアドバイスや、話合いの様子が示され、児童の思考をより深められるようにしています。

見開き2ページを活用して、問題解決的な学習が展開できるようなレイアウトになっています。

総括です。

デジタルコンテンツが充実しており、児童の多様な疑問に対応できるようになっている。教師の視点からも、多様なデジタルコンテンツにより、教材づくり、指導の工夫がしやすくなっています。

	<p>学習者用デジタル教科書に関して、タブレット上でノートをつくることができ、教科書を見ながら効率的に学習を進めることができます。 以上社会科教科用図書についてです。</p>
議長	<p>ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>今情報社会の中で、情報を扱うところがだいぶ変わってきていると思いますが、各社の中で、情報の内容について特徴的な所はありますか。</p>
社会科部会長	<p>内容につきましては、グラフ、図、表など多岐にわたっておりまして、またインタビュー等も動画で取り入れられていたり、どの会社におきましても充実しております。</p>
委員	<p>もう1点よろしいでしょうか。SDGs について先ほども説明もあったのですが、各社取扱いについてはいかがでしょうか。</p>
社会科部会長	<p>とくに日本文教出版の方で、SDGs の関連資料が豊富に取り入れられておりました。それ以外のところでも必ず SDGs 関連の内容のものが盛り込まれております。多少軽重が教科書会社でございます。</p>
委員	<p>各社とも QR コンテンツが必ず入っていて、工夫されていますが、特にこの辺のが目を引くというものがあったら教えてください。</p>
社会科部会長	<p>QR コンテンツにつきましては、日本文教出版が豊富にわたっています。東京書籍等もインタビュー、クイズ、写真、イラスト等様々なもの、ワークシートについてもどの教科書会社が入っていますが、東京書籍等分かりやすくなっていると思います。</p>
議長	<p>よろしいですか。他にございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
議長	<p>次に、地図となります。 専門部会長の入室をお願いします。</p>
社会科部会長	<p>それでは、地図帳についての報告をいたします。</p> <p>帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。 学習指導要領との関わりについてです。 地図に関する興味関心を高める「地図マスターへの道」や学習を支援する「二次元コード」が設定され、主体的な学びが進められるように工夫されています。 教師役のキャラクターによる「問いかけ」が配置され、また「地図マスターへの道」の学習活動が示され、思考力・判断力・表現力の育成につながっています。</p> <p>内容についてです。 地図に関する知識や技能の習得のため、地図の概念や方位、地図記号、地図の約束、記号凡例や索引など地図帳の使い方方をスモールステップで丁寧に説明しています。</p>

資料についてです。
地形の様子がとらえやすくなるように、土地の高さによる色分けと陰影表現を組み合わせた立体感のある地図表現にしています。
A4判のワイドな紙面を活かし、地理的な位置関係や地域間の結びつきを的確にとらえられるようにしています。
表記・表現についてです。
レイアウト、フォント、色遣いなどユニバーサルデザインを取り入れている。また、インクルーシブ教育へも配慮し、手話による都道府県の表し方を紹介しています。
各ページに登場するキャラクターの発言を用いることで、児童の思考を深めることができるようになっていきます。
総括です。
資料が豊富にあり、社会科だけでなく、他の様々な教科で活用が可能となっています。地図を使い始める3年生から丁寧に分かりやすく地図の使い方を学ぶことができるような構成になっており、また、大きく分かりやすい文字で、教師も児童も負担なく地図帳を使った学習ができるようになっていきます。
QRコンテンツも豊富で、一人一台端末を活用することで、より理解を深めることができます。
東京書籍「新しい地図帳」です。
学習指導要領との関わりについてです。
冒頭の世界と日本の地図で、世界や日本の様々な事物を紹介し、地図に関する興味・関心を喚起しています。
「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」を随所に設置し、多くの疑問と学習活動を設定し、楽しく、深く地図について学べる工夫がされています。
内容についてです。
知識・技能を習得について、地図記号や索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基本的な地図の読み方を、具体例を提示しながら説明しています。地球儀の活用について、実際に活用している場面の写真を使い、分かりやすく説明しています。
日本の自然災害、各地の伝統工芸や名産物、郷土の偉人なども取り上げ、防災意識の向上、郷土への愛着が深められるようにしています。
資料についてです。
地図及び索引で全市町村名を網羅しています。A4判の特性を生かし、広い範囲を紙面に収めています。
主な歴史の舞台、世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けて注目させています。
表記・表現についてです。
地図中の文字や記号が大きく、丸ゴシックの親しみやすい書体になっており、また、地名表記は白い縁取り、ユニバーサルデザイン書体を使用しており、親しみやすく、見やすくなっています。
各ページに登場するキャラクターをヒントに学びを深められるようになっていきます。
総括です。
4～6年生の発達段階を考慮して、内容が厳選されています。特に、日本の自然、産業、交通、都市、貿易、歴史、伝統文化についての内容、資料が充実しています。
地図を開きたくする工夫、見やすさ、使いやすさの点で多くの配慮がされています。

議長

ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。

委員

2社で、ページ数が132ページと102ページとかなり差がありますが、この違いというのは何ががありますか。

<p>社会科部会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<p>後半の資料部分などと思いますが、内容が厳選されているのと、そうでないのとその部分かなと思います。</p> <p>よろしいですか。他にございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>2社共に大変工夫があつて見やすいなと感心していました。</p> <p>ありがとうございました。他に意見いかがでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p> <p>地図帳なので、社会との関連は強いとことだと思いましたが、様々な教科で使えそうな工夫がされていると思いました。</p> <p>ありがとうございます。他ございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>算数部会長</p>	<p>続いて、算数となります。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>6社で重なる内容がかなりありますので、それぞれについて、特徴的だと思う部分のみを抽出して述べていきます。 東京書籍の「新しい算数」です。 内容の知識及び技能の習得に関しては、巻末に「ほじゅうの問題」等、児童の理解度や進度に対応しています。復習問題や巻末の「ふりかえりコーナー」が設定され、知識・技能がスパイラルで習得できるよう工夫されています。また、正誤判定や結果の記録機能により、学習評価を効率的に行えるようになっていきます。</p> <p>思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「つないでいこう算数の目」のコーナーにより、数学的な見方・考え方を働かせる場面を必要に応じて設定しています。「吹き出し」を載せることで、思考の活性化が図られたり、発展的に考えたりできるようになっています。</p> <p>学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、単元の後半に自分たちで学習を切り拓くための「それなら次は？」のページが設定され、児童がこれまでの問題解決の課程を振り返り、新たな課題を見出し、解決を実行する力を育成するページとなっています。</p> <p>資料については、巻頭「私と算数」では、現在活躍するアスリートなど著名人の算数に纏わるエピソードなどが掲載され、算数が児童にとって身近になるよう工夫されています。</p> <p>表記・表現としては、学習者用デジタル教科書では、ルビや分かち書き表示などの変更ができる工夫がされています。帰国・外国籍児童など、日本語が苦手な児童への対応も可能となっています。</p> <p>総括としては、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、問題解決型の学習展開が成されるよう構成され、どの児童も数学的な活動をとおして「数学的な</p>

見方・考え方」を働かせて学習できるように工夫されています。個別最適な学びのため、デジタルも充実されています。

続いて、大日本図書の「たのしい算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、練習問題に加え、巻末の「プラス・ワン」の問題を用意し、知識・技能を習得しやすい工夫をしています。また、QRコードに既習事項の内容や問題の答え、児童が自学自習で知識・技能が習得しやすいように配慮されています。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「算数の大切な考え方」というコーナーで、考えるための視点をまとめています。また、それらを、年間を通して活用し、既習の考え方と比較しながら、統合的・発展的に考える力を身に付けられるように構成されています。

学びに向かう力のところでは、「振り返りのポイント」について記述例を載せ、児童が自分の学習を振り返られるよう工夫されています。

資料につきましては、登場する人物を、性別・国籍のない表現にするなど、多様性を認める内容となっています。

表記・表現について、ページの左側に学習の段階を示す「学習過程」が示され、児童にとって学習の見通しがもてるよう工夫されています。

総括として、図や言葉を使った丁寧な説明と練習問題の量、QRコードを活用した既習事項の提示内容が充実し、児童が主体的に学べるよう工夫されています。

続きまして、学校図書「みんなと学ぶ算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、単元の学習の最後に「できるようになったこと」を載せたり、巻末に「もっと算数」などの追加問題を設定したりすることで、知識・技能を習得するための機会を充実させています。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「考え方モンスター」というキャラクターを活用し、課題を解決するための考え方を示しながら児童が考えられるような構成となっています。児童の吹き出しや、考え方の例示がされ、課題を解決するための見通しをもったり、自分の考えを表現する時の参考にしたりできるようになっています。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、「考え方モンスター」を使って学習したことを振り返らせることで、算数の学習の視点を自覚させ、自分の学習の成果を算数の学習に応じた視点で振り返ることができるように工夫されています。

資料については、QRコードで読み取る資料では、具体物の操作がタブレット上でできたり、補充の問題に取り組んだりすることができるようになっています。

表記・表現としては、教科書の大きさが AB 版になっています。「算数のまとめ」のページでは、既習の学習内容を扱った学年が表記され、必要に応じて学年を遡って復習ができるよう工夫されています。

総括としては、「考え方モンスター」を継続して活用することで、学び方に見通しをもったり、学習内容を具体的に振り返ったりすることができ、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

続きまして、教育出版「小学校算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、「考えるヒント」で問題が解けない児童に考えるきっかけを与えています。また、「よくあるまちがいがいい」では事前に気を付けるべきポイントを確認することができるよう工夫されています。単元導入の「どんな学習がはじまるかな？」では、身近な場面から問題を発見できるよう工夫されています。各学年で培った知識・技能の学びをつなげるための「学びのマップ」や「学びの手引き」のコーナーが充実しています。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「はてな、なるほど、だったら」の吹き出しで問題発見の過程がわかりやすく表現されています。単元を通して、問いを解決することを繰り返しながら、つながりをもって学習が進められるように構成されています。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、「学びの手引き」では、児童

が学習の進め方や学び方を身に付けることができるよう工夫されています。振り返りのところでは、練習問題ごとに「たしかめ」として活用できるよう3段階の顔マークが示され、学習の振り返りが容易にできるよう工夫されています。

資料については、デジタルコンテンツにより、解説動画やタブレットを活用した個別最適な学習が協働的に進められるよう構成されています。巻頭に「算数が好きになるはじめの一步」や「まなびリンクを使って学ぼう」など、1年間の学びを期待させる特設コーナーが設定されています。

表記・表現としては、各時間の課題、まとめなど、重要事項や新しい用語が囲みや太字で強調され、見やすく工夫されています。

総括としては、「問いの連続」を重視し、解決から「新たな問い」を見出す学びがスパイラルで学習できるように構成されています。

続いて、啓林館「わくわく算数」です。

単元及び年間を通して、学習したことが確実に身に付けられるように、練習や復習のページを計画的に配置しています。学びのつながりを感じながら進められるよう、巻頭の「もくじ」や巻末の「学びをつなげよう」で既習事項とのつながりが示されています。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、問題解決の場面では、分かったことを表現したり、考えたことからよりよい解決を目指したりする活動が、イラストや吹き出しで示されています。また、既習を生かす場面では、見通しをもったり、根拠をもって考えたりする様子が示されているため、児童が数学的な見方・考え方を働かせて考えることができるように工夫されています。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、単元の導入では、身の回りのことから既習事項を取り上げて、興味や関心をもてる内容となっています。

数学的活動の充実に関しては、巻頭で、算数で使いたい考え方を「図・演繹・類推・帰納・統合・発展」の6項目、2・3年生は4項、にまとめ、既習事項を例に具体的に紹介しています。価値付けたい数学的な見方・考え方にマーカーをつけて強調しています。

資料については、第1学年の入学初期の学習内容を、A4版中綴じ製本で分冊化しています。開くとフラットになるよう綴じ込まれていますため、ブロックが置きやすく、文字が書き込みやすくなっています。5・6年生は合冊構成にすることで、1年間の学びを見通す力を育むとともに、中学校の1冊構成に慣れ親しむことができるようになっています。

総括としては、児童が主体的に学習に取り組みやすい構成となっています。算数での学習を活かして、現代的な課題について考えるページを設け、活用・探究といった数学的活動が行えるよう工夫されています。

最後に日本文教出版「小学算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、巻末に「算数マイトライ」を設け、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとチャレンジ」とレベル別になっているため、児童一人一人の実態に応じて主体的に取り組むことができるよう構成されています。単元末に「間違いやすい問題」を設け、つまずきやすい内容への対応が工夫されています。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、複数の単元や領域を結び付けた内容を用いて、理由や方法などを説明する問題が扱われています。見通しを立てたり筋道立てて考えたりするための着眼点を「見方・考え方」として示し、数学的に思考・判断・表現する力が育つように工夫されています。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、1～4年生の上巻の巻末に、「学び方ガイド」と「算数で使いたい見方・考え方」を両面印刷し、切り取れるようになっているため、児童がどの学習場面でも活用して確認ができるよう工夫されています。「自分でみんなで」のコーナーでは、問題解決の過程で自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだりする場面を提示し、児童による主体的な算数の学びを実現できるように工夫されています。「算数ジャンプ」では探究的な問題を取り上げ、算数の楽しさやよさを感じることができるよう工夫されています。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>算数部会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>算数部会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>算数部会長</p> <p>議長</p>	<p>資料については、表紙には学年の学習内容が描かれており、学びのプロセスを大切にしています。</p> <p>表記・表現としては、めあてを太字で表現し、図形に使う色の数を抑える等して、見分けやすいよう配慮されています。</p> <p>総括としては、異校種間の円滑な接続を意識し、1年生の導入期は、絵本の読み聞かせを模して、幼児期の生活経験と算数を接続させられるよう工夫されています。SDGs、情報リテラシー、防災教育、伝統・文化等の題材も取り上げ、現代的な諸課題へ目がいくよう工夫されています。</p> <p>以上になります。</p> <p>ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。</p> <p>日本文教出版の資料のところでは、QRコードが掲載されており、図形や割合の変化の様子等、動かして確かめたり、動画で見たりできるようになっています。やはり算数が苦手な子にとっては、図形とか苦手だったりすると思いますが、他の会社でもこのような苦手な子への、これを見ると分かるというものはあるのでしょうか。</p> <p>今ご質問あったとおりで、QRコードはどの会社も充実しています。個別最適な学びができるように工夫されています。</p> <p>ありがとうございます。よろしいですか。他ございますか。</p> <p>各社でプログラミングについて取り扱っているという捉えでよろしいでしょうか。</p> <p>どの会社もプログラミング的な活動を取り入れています。</p> <p>ありがとうございます。その他ございますか。</p> <p>習熟に差が大きい教科ではありますが、自由進度学習であるとか、自学自習できる工夫や特徴があったら教えてください。</p> <p>巻末や補充問題等で、進度が早い子への対応だったり、発展的な内容を特設コーナーで設けていたり、QRコンテンツで繰り返し家庭でも学習ができる、復習ができるように構成されています。</p> <p>ありがとうございます。その他ご質問ございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p> <p>それでは、ここで10分間の休憩に入ります。14時15分からの再開になります。</p>
<p>議長</p> <p>理科部会長</p>	<p>再開させていただきます。</p> <p>続いて、理科となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>これから「小学校 理科」における研究調査の結果につきまして、御報告い</p>

たします。

1社目、東京書籍「新しい理科」について報告します。

内容については、観察や実験において実験結果を書き込めるワークシートや、実験のやり方の動画をQRコードから読みとることができ、一人一台端末で活用しやすいように工夫がなされています。

資料として、写真が大きく、細かいところまで観察できるものになっています。また、見せたいところがよくわかる構図になっています。

表記・表現では、「問題」「観察・実験」「まとめ」の3項目は特に大きな文字で示されています。また、「まとめ」はすべての漢字にルビが振られていて、読みが苦手な児童でも学習内容を確認されるようになっていきます。

総括として、デジタルコンテンツ（動画、デジ活、デジ問、理科ノート）や単元末の「ふりかえろう」「たしかめよう」から、知識及び技能の習得のための工夫がなされています。

2社目、大日本図書「たのしい理科」について報告します。

内容については、児童が見通しをもてるよう、「問題」「予想」「計画」「実験」「結果」「考察」「結論」の流れで明記されています。また、キャラクターの吹き出しで児童が観察、実験の計画を立てやすいようにヒントを示しています。

資料として、各ページの横にQRコードがついており、「実験器具の使用手法」や「学習に関する動画」が確認できるようになっています。

表記・表現では、結論は問題と対応する内容が示されており、点線で区切った下部に補足的に重要なことがまとめられています。

総括として、実験器具の使い方の動画や単元末に「たしかめよう」「学んだことを生かそう」、巻末に「チャレンジ問題」があり、知識及び技能の習得のための工夫がなされています。

3社目、学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」について報告します。

内容については、観察・実験では、手順について、写真や図を用いて示されています。また、単元末には、「やってみよう」や「ふりかえろう」の問題があり、学びを深められるように工夫が見られます。

資料として、巻末に「実験器具の使い方」があり、一連の作業を細やかなステップに分解し、チェックしながら学習できるようになっています。さらに、タブレット等でQRコードを読みとることによって、動画でも確認できるようになっています。

表記・表現では、問題解決の流れの中でフォントの大きさを変え、また、裏表紙には「もくじ」があり、1年間の学習内容がわかるようになっています。総括として、「理科モンスター」を登場させ、身につけたい力をキャラクターで示し、考える視点を明確にすることで、児童が科学的に問題解決できるような工夫が見られます。

4社目、教育出版「未来をひらく 小学理科」について報告します。

内容については、単元ごとに主人公を設定し、友達と関わり合って学ぶ姿を掲載しています。現象の本質に迫り、身のまわりの事柄にあてはめて、深く学べる場面を設定しています。単元末には、学習前後の考えの変容を想起させる箇所があり、自分の成長を感じやすいようになっています。

資料として、デジタル星座早見版や実験器具の使い方についての動画があり、裏表紙には、実験や観察の際の注意がまとめられ、安全面の配慮がなされています。

表記・表現では、学習の中で出てくる重要な言葉を、太字とマーカーで強調しています。また、各学年で初めて出てくる漢字には、ルビがふられています。

総括として、理科の見方や考え方を働かせた登場人物の台詞に、カギマーク（「見方のカギ」・「考え方のカギ」）がついており、児童が科学的に問題解決できるような工夫が見られました。

5社目、啓林館「わくわく 理科」について報告します。

内容については、身近な植物や動物の写真を載せることで、児童が単元に興

	<p>味をもちやすいように工夫されています。また、単元末に「くらしとリンク」というコーナーがあり、実生活と学習内容を結びつけることができるようになっています。</p> <p>資料として、with the Earth など実生活に置き換え、自分たちにできることを考えさせるコラムがあります。SDGs や STEAM を意識しやすいように、「わくわく SDGs」という QR コードがついています。</p> <p>表記・表現では、理科ならではのダイナミックな写真や、興味深い話題がたくさん掲載しています。</p> <p>総括として、単元末の「まとめノート」「たしかめよう」や巻末の「オッター資料室」や「ワグビット」から、知識及び技能の習得のための工夫が見られました。</p> <p>これで、理科の報告を終わりにします。</p>
議長	ご説明ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。
委員	SDGs の扱いについて何か特徴的なものがあれば教えてください。
理科部会長	どの会社も、SDGs のマーク等は掲載され、大きな差はないのですが、一部啓林館の方が STEAM という言葉も入れて、SDGs と絡めて詳しく掲載されていました。
議長	よろしいですか。他にございますか。
委員	実生活との関連付けで特徴的なものがあれば教えてください。
理科部会長	どの会社も発展的な所で実生活との結びつきがあるので、主だってというのはないのですが、QR コードと絡めてどの会社も行っております。
議長	よろしいでしょうか。その他。
委員	実験については、各社とも QR コードが載っていて、見やすく分かりやすくなっているということでしょうか。
理科部会長	どの会社も実験のやり方、まとめの後の発展のことについて QR コードで詳しく説明しておりました。6年生の QR コードの数ですが、東書が121、大日本が150、学図も150、教出が75、啓林館103で、6年生に限ってですが、大日本、学図が多くなっています。
議長	よろしいでしょうか。その他質問ございますか。
委員	大日本に「サイエンスワールド」という中学校で学習する内容の資料がありますが、他の会社でも中学校の内容とリンクするようなどころはありますか。
理科部会長	中学校とリンクしているところもございました。
委員	STEAM の話もありましたが、探究を目的に取り入れている中で、他教科との関連でいいところはありますか。
理科部会長	どの会社も教科横断的な視点が入っておりまして、理科と算数を結び付けたり、国語と結び付けて発表の仕方だったり、教科横断的な視点での掲載がありました。
委員	プログラミング的な所はどうですか。
理科部会長	詳しく調べていないので分かりません。申し訳ありません。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<p>よろしいでしょうか。他はございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>SDGs であるとか、他教科との関連ということで、SDGs ではマークも具体的に取り入れながら、分かりやすく進められている教科書が多いなという印象です。実験についても自分で進めていける、活動ができるようなまとめ方がされていると感じられます。</p> <p>その他ご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>生活部会長</p>	<p>続いて、生活となります。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>生活科の教科用図書につきまして、御報告いたします。 まず、2東書につきまして報告いたします。 内容につきましては、意欲的に楽しく活動する写真やイラストが多く掲載されていて、児童の活動の参考になるよう工夫されています。 資料につきましては、巻末の「かつどうべんりてちょう」は、生活科で学習する習慣や技能がまとめられ、活動によって活用できるように配慮されています。 表記・表現につきましては、種や苗から実ができるまでの写真を教科書の端に種類ごとに分けるなど、比較しやすいように示しています。 総括といたしましては、随所に図鑑として活用できる写真をふんだんに取り入れ、また巻末にある「かつどうべんりてちょう」を使って自分で調べることができ、疑問に思ったことや興味のあることに自主的に取り組めるような構成になっています。 次に、4大日本につきまして報告いたします。 内容につきましては、写真やイラストによって見通しをもって活動ができ、子供が困ったときにも吹き出しに答えではなく活動のヒントが書かれているなど、思考を助けてくれるよう工夫されています。 資料につきましては、本文中、巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が配置され、大切な生活習慣や活動のアイデアなどがまとめられています。 表記・表現につきましては、教科書中に書き込めるようになっている箇所が多く、教科書を見ながら活動もできるよう工夫されています。 総括といたしましては、教科書に書き込む箇所が多くあったり、ビンゴカードなどもついていたりして、教科書があれば活動できる単元も多いように作られています。 次に、11学図につきまして、報告いたします。 内容につきましては、単元の扉で児童の楽しそうな活動の様子を大きな写真で掲載し、活動への意欲付けが図れるよう工夫されています。 資料につきましては、子どもたちの主体的な活動を支援する「ものしりノート」や「ものしり図かん」などの資料ページが充実しており、もの作りや記録など子どもが自分で活動を広げていけるよう配慮されています。 表記・表現につきましては、単元ごとにメインキャラクターを設定し、ストーリー化を図っています。</p>

	<p>総括といたしましては、全単元を通して、キャラクターや写真によって子どもたちが意欲的に活動している様子が取り上げられている。また、振り返りの場面が充実しているので、子どもたちが自身の成長や良さに気付けるように工夫されています。</p> <p>次に、17教出につきまして御報告いたします。</p> <p>内容につきましては、単元導入の「わくわくスイッチ」や単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返り時の「ぐんぐんはしご」などの工夫が見られます。</p> <p>資料につきましては、巻末の「学びのポケット」に各教科の知識・技能を整理し、合科的・関連的な指導をサポートするような工夫がされています。</p> <p>表記・表現につきましては、イラストや写真の中に外国籍の児童や車椅子の児童が載っていて、インクルーシブ教育やユニバーサルデザインに配慮されています。</p> <p>総括といたしましては、幼児期から親しんでいる絵本で、生活科のイメージを膨らませる工夫がされています。</p> <p>次に、31光村につきまして御報告いたします。</p> <p>内容につきましては、ヒントや振り返りの観点がしっかりと明記されており、子供の思考を助けてくれるよう工夫されています。</p> <p>資料につきましては、上巻末に切り離して使える「きせつのなかまたち」、下巻には小冊子で「ひろがるせいかつじてん」があり、実際の活動に生かせるよう工夫されています。</p> <p>表記・表現につきましては、見開きの構成が決められており、左上に課題、右下にふりかえりのポイントというように、子供にも活動の流れを意識させやすい工夫がされています。</p> <p>総括といたしましては、絵本作家の親しみやすいイラストがある他、観点がしっかりと明記されており、それぞれのコーナーの場所が定まっています。扱い方が身につけやすい構成になっています。</p> <p>次に、61啓林館につきまして報告いたします。</p> <p>内容につきましては、「わくわくタイム」では、児童に直接働きあけるような言葉が掲載されていて、児童の気付きを助けるよう工夫されています。</p> <p>資料につきましては、上下巻末に「がくしゅうずかん」、上巻頭に「すたあとぶっく」、下巻末に「3年生へのステップブック」があり、幼児教育や3年生以降とのつながりに配慮しています。</p> <p>表記・表現につきましては、紙面下に「めぐり言葉」があり、児童の思考の連続性を促す構成になっています。</p> <p>総括といたしましては、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階の構成で、学習過程の流れが分かりやすく示されています。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
議長	ご説明ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。
委員	生活科に関しては、机上で学ぶよりも地域の特性等を生かしながら教科書を基に実生活で学ぶところが大きいと思うのですが、そういった繋がりが見られる工夫はありますか。
生活部会長	全ての教科書に通じる場所ですが、文字と情報というよりも、大きな見開きの写真、イラスト、そして子供の言葉から活動を発展させる働きが多いと感じます。
委員	今 GIGA スクール構想の中で、タブレットが導入され1、2年生も使う場面があると思いますが、その辺りの記述はありますか。
生活部会長	タブレットという記述はありませんが、全ての教科書に QR コードがついており、子どもたちがそこから活用していけるような工夫がされていると感じま

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<p>した。</p> <p>よろしいでしょうか。その他ございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>子どもたちが活動している場面の写真がふんだんに取り入れられた教科書が多いなと思っています。写真を中心に取り組んでいる教科書があるなと思いました。</p> <p>その他ご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>図画工作部会長</p>	<p>続いて、図画工作となります。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>失礼いたします。小学校・図画工作専門部です。よろしく願いいたします。</p> <p>図画工作は、「開隆堂出版株式会社」、「日本文教出版」の2社でございます。</p> <p>教育委員会からの通知に基づき、研究調査報告書の上の項目から順に全種目について説明をさせていただきます。</p> <p>説明は目録順とのことですので、全種目とも、共通の部分を除き、基本的に開隆堂株式会社、日本文教出版の順で申し上げます。なお、「開隆堂株式会社」については「開隆堂」と、「日本文教出版」については「日文」と、略称を使わせていただきます。</p> <p>それでは、項目ごとの説明に入ります。</p> <p>最初に、採択区の小学校の報告書様式には、項目がなく記述もしておりませんが、「学習指導要領の教科の目標との関わり」について申し上げます。</p> <p>当然のことですが、小学校の図画工作の学習は、中学校・高等学校の美術に接続し、生涯にわたって美術を愛好する人間の育成につながっていくものでございます。小学校学習指導要領の図画工作の目標では、児童が「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」と示されております。この点については、2社とも、生涯学習の視点から鑑賞資料を充実させるとともに、児童の活動の様子、作品、材料等を写真で示し、作者の感想とを織り交ぜて、児童の感性を刺激し、つくりだす喜びを味わいやすく、情操豊かな造形活動が行われるようにするという構成になっております。また、各題材の冒頭（主に見開き2ページの左上となりますが）に、その題材の目標を短文で示し、追って、学習上のヒントや活動に必要な技法などをガイドするレイアウトになっております。</p> <p>ここで、2社の特徴を申し上げます。</p> <p>まず、冊子としての構成ですが、「開隆堂」「日文」とも、巻頭にそれぞれ折込みを設けて、大きな鑑賞資料を掲載しています。また、各題材のページをご覧いただきますと、こちらにつきましても「開隆堂」「日文」とも、題材の始まりの部分に、「学習のめあて」として、学習指導要領の目標が掲げる3つの柱を意識した題材を通して育成したい資質・能力が記されています。</p> <p>そして、両者とも、ページの随所に児童が相互に話し合いを促すコメントが添えられており、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」につながるような配慮がなされています。</p>

次に、報告書様式の項目の1番目、内容について申し上げます。
まず、知識及び技能が習得できるようにする工夫について申し上げます。2社とも、題材ごとまたは巻末資料において、絵や立体、工作などの表現活動に必要な用具・材料・技法などの使い方が具体的に示されています。

「開隆堂」は、普段では使わないような材料を用意して行う題材が多く、そこから、新しいスキルと出会うことができ、「日文」は、巻末に、まとめて基礎的な技法の紹介がされており、そこから新しいスキルと出会う工夫がされています。

この点については、2社とも、各題材、各資料に力を入れて情報を充実させ、用具・材料・技法の扱い方を示して、児童が調べながら表現活動が行われるよう工夫されています。

続いて思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫です。

「開隆堂」は、児童の作品に作者の言葉があり、製作途中の児童のつぶやきや吹き出しで表現されており、「日文」は、立体、工作では全体写真の他にポイントを拡大し、その作品の工夫がよく分かる写真もあるのが、それぞれの特徴です。

次に学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫にまいります。

「開隆堂」は、1、2年上に最初に図工の授業が始まる、幼小をつなげるスタートプログラム仕様になっており、幼児教育への関連が見られます。「日文」は、「学習のめあて」で分かりやすい言葉で説明されており子供のやる気を喚起させます。

続いて、〔共通事項〕についてです。〔共通事項〕は表現及び鑑賞をとおして造形を豊かにとらえる多様な視点をもてるように指導することですが、「開隆堂」は、「小さな美術館」のページで重点的に取り扱い、「日文」は「図工のみかた」という発想に悩む児童や各題材の導入に使用できるヒントがところどころにあります。

これについては、2社とも、表現の題材の中で児童が相互に鑑賞し合うようにページがレイアウトされ、表現と鑑賞とが表裏一体となっていることを自然に意識できるように工夫がなされています。

内容の最後、用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫に参ります。

これについては、2社とも、ほぼ同じ内容で報告しております。両者とも、それぞれの巻末資料を利用して安全な用具の使い方を示すとともに、危険な例なども提示しており安全上の配慮や片付けのポイントを記した枠囲みを設けています。

続いて、項目の2番目、資料の欄に参ります。

図画工作の場合、作品例等の写真や図版の資料が生命となりますが、これについても、2社の掲載されている写真・図版の数は多く、大変充実しております。2社それぞれの写真や図版の特徴を考えますと、「開隆堂」は作品一つ一つの写真が大きく、作品事例が豊富であり、「日文」は作品の部分拡大した写真と活動の様子写真が多いという両者のコンセプトの特色を感じます。

次に、表記・表現です。

冒頭、学習指導要領との関わりで触れたとおり、2社とも、また、各題材のページの始まる部分に、「学習のめあて」として、学習指導要領の目標に掲げる3つの柱を意識した題材を通して育成したい資質・能力が記されています。

「開隆堂」は、役目の違う3つのキャラクターが動画でも登場し、児童にアドバイスをしていく形、「日文」は、分類マークを頼りに、児童が身に付けさせたい資質・能力等の表記は必ず5つあり、言語が充実しております。また、「開隆堂」は、児童が活動している様子を写真や吹き出しで示すことが多く、「日文」は、児童や作家のコメントを多く記載することが多いのが、それぞれの特徴です。いずれも、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」へのアプローチを意識したものと言えると思います。

それでは、最後、総括に参ります。

	<p>まず「開隆堂」ですが身に付けさせたい資質・能力（ねらい）と関連付けられた振り返りが記されて「指導と評価の一体化」という点で埼玉県教育課程の理念に沿っていると感じました。また、教科横断的な視点が入っており、内容が明示されているのでカリキュラムマネジメントがしやすいとも思いました。次に「日文」ですが、ICT のアプリが充実しており、子どもたち自ら考えさせる場面がとて多いと感じました。また、自分でもやってみたい、作りたい、できそうだと思うせ、子どもたちに自信をもたせる作品が数多く掲載されている工夫がされていました。</p> <p>2社の体裁については、「開隆堂」「日文」とも A4 判でございます。紙質は、耐水性のある光沢紙を使用しておりまして、手触りもほとんど同じです。</p> <p>以上、2社の特徴について、研究調査した結果をお話させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ご説明ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>開隆堂の表記・表現のところに、意欲が高まる導入の動画作品が豊富とありますが、具体的にどのようなものがあるのか、また同じようなものが日分にもあるのかどうかをお願いします。</p>
図画工作部会長	<p>キャラクターが飛び回って説明をするのが、開隆堂で、日文は QR コードを読み込んで、ポイントが示されているというのが特徴です。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。その他ございますか。</p>
委員	<p>先ほどの説明の中で、埼玉県の教育課程の理念である、指導と評価の一体化という言葉があったので、そこについて具体的に教えて欲しいのが一点と、また、教科横断的な視点について何か具体的な事例を教えてくださいと思います。</p>
図画工作部会長	<p>開隆堂では、ねらいが左上に書いてあり、振り返りが必ずねらいにそったものが設定されているのが特徴です。日文では、必ず5つねらいが書かれ、振り返りでは、他に思考するような、非常に自己に対する問いかけのようなものが多かったと思います。</p> <p>また、教科横断につきましては、開隆堂では、教科が書いてあり、さらに内容まで触れられるような表記がされていました。日文では、教科は書かれていないのですが、内容に触れる所は自分で考えられるような表記がされていたと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。その他ございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p> <p>それでは、10分間の休憩に入ります。15時10分の再開になります。</p>
議長	<p>それでは再開いたします。</p> <p>続いて、家庭となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>
家庭部会長	<p>それでは、小学校家庭における研究調査結果を申し上げます。東京書籍と開</p>

隆堂の2社がごございますので、東京書籍、開隆堂の順で申し上げます。なお、教科書目録に従い、東京書籍は「東書」と省略いたします。

まずは、「内容」について御説明いたします。

4つの観点から報告いたします。

1つ目は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫についてでございます。

東書は、「できたかな」のコーナーを設け、学習した内容をふり返し、達成度や新たな課題に気づける構成になっており、巻末の「いつも確かめよう」で調理実習や製作実習の技能について困ったことがあったらすぐに確認できるようになっています。単元の最初に課題を見つけるための話合いが設定され、探究的に学習を進められるようにしつつ、どの題材でも学習に関連した情報を多く載せ、知識や技能の定着につながる工夫がされています。

開隆堂は、QRコードが奇数ページほぼ全部に掲載されており、教科書の内容に関連するコンテンツを参照することができます。動画や資料などは再生スピードを調整しながら見ることができ、学習内容をよりわかりやすくなっています。「できたかな」のコーナーで、その題材で身に付けるべき知識や技能が示されており、達成度や新たな課題に気づける構成になっています。衣服・食生活・住居・消費などの分野が細かく分けられ、5・6年それぞれにバランスよく配当されています。中学校での学習が記載されており、小学校での知識がどのように中学校で生きるのかわかるように工夫されています。

2つ目は、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫についてでございます。

東書は、4つの視点の中から、主に考える視点を題材の始めに提示することで、見通しを立てて学習できるようになっています。また、成功例や失敗例をグラフや例示、写真で掲載し、その写真を活用しながら思考を深めたり、表現したりすることに繋がる工夫があります。「1課題発見(見つけよう)→2課題解決・実践活動(計画しよう・実践しよう)→3評価改善(生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)」の流れで学習が進み、さらにどの部分を現在学習しているかがマークで表示されていることで、児童自身が今何を学習しているかを整理しながら進められるようになっています。

開隆堂は、題材のおわりに「学習をふり返ろう」のコーナーを設け、学習の始めにある「学習のめあて」をチェックするよう促しています。そのことで、めあて～ふり返りの整合性のある学習が進められるようになっています。ワークシートや教科書に書き込めるスペースの種類が豊富で、必要に応じて活用できるようになっています。①気付く・見つける(見出しが問いかける形式＝児童が考えながら学習していける)→②わかる・できる→③生かす・深めるの3つのステップをくりかえしながら 実際の生活に生かせることを目指すという、構成になっています。

3つ目の学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫についてでございます。

東書は、「家庭科の窓の効果」はどうやってその力を付けていくのかなど、見方や考え方の指針になるよう、考える力を育てる工夫があります。多くの題材に「いつも確かめよう」という見出しがついており、その題材でのメインとなる活動の流れが記載されていることにより、学習に見通しをもって取り組むことができます。成長の記録のページがポートフォリオの役割を果たし学習の見通しや積み重ねを実感し、自分の成長を振り返ることができるように工夫されています。

開隆堂は、「学んで変わるよ わたしたち」では、これまでとこれからについてできることが 増えてきていることや、他教科との関連などを示し、家庭科学習の見通しをもつことができるようになっています。学習で身につけたことをもとに、疑問、さらに探求したいこと、できるようになりたいことなど「生活の中の課題」として例示し、生活をよりよくできるよう実践につなげていく工夫がなされています。生活の見方・考え方の4つの視点のなかで、その題材で関連が深いものを学習の始めに提示し、より意識して生活を見つめるこ

とができるようにしています。単元の構成が、例えばお金の使い方はお年玉を貰うであろうお正月前あたりと日常生活に即しています。

4つ目は、実践的・体験的な活動の工夫についてでございます。

東書は、「生活を変えるチャンス！」では、事例により学習を振り返ることで、実践的体験的な学習の充実が図れるように工夫されています。段階的な学習活動の設定により、家庭生活に結び付けて実践・体験できるように工夫されています。

開隆堂は、「生活の課題と実践」のページにおいて、学習を振り返ることで実践的体験的な学習の充実が図れるよう工夫されています。細かなステップで学習を進め、最後の「生かす 深める」で学習したことを家庭実践できるように配慮されています。

次に、「資料」についてご説明いたします。

東書は、写真、イラスト、QRコードが豊富で、動画の資料や学習に使うワークシートを見ることができ、思考ツールも活用できます。活動の中で知識と技能が身につくように細かく活動が設定されており、活動のポイントや例も丁寧に載っています。「活動」「資料」では、その題材において考えさせたいことや指導事項が取り上げられており、より主体的に学習を進めやすい工夫となっています。「プロに聞く」では、その道で活躍している人の言葉で思いや考えが書かれており、学習したことが社会とどう結びついているかがとらえやすくなっています。

開隆堂は、写真、動画の資料が豊富で学習内容に適宜レイアウトされています。「キャリアインタビュー」では、その道のプロの話に掲載し、学習していることが社会とどのようにつながっているのかがイメージしやすくなっています。調理や片付けの過程が分かりやすく、洗濯表示や食品表示など知識を活用して読み取ることができるなど、実生活で活用できる情報が載っています。巻末に安全・防災コーナーや実習に役立つワンポイント調理編・実習編があり、必要に応じてすぐに確認し、学んだことを生かし考えられるようになっています。

次に、「表記・表現」についてご説明いたします。

東書は、難しい言葉の説明書きがあったり、児童に気づかせたい内容を吹き出しに疑問文として記載したりされています。めあてがそれぞれの小見出しとリンクしています。感染症、食物アレルギー、災害時の行動など、現代社会に対応した表記があり、生活に密着して考えることにつなげています。表紙には人種・性別・障害・家庭と地域のつながり等、多様な生活スタイルが表現されています。また、カラーユニバーサルデザインに配慮した色使いで項目分けし、マークを活用するなど学ぶところを整理していて、見通しが立てやすい標記表現となっています。

開隆堂は、目次が項目ごとに色分けされており、5・6年の学習項目の関連が示されています。

全体的に文章量が少なく、大事なところを太字で表記したり、「豆知識」で取り上げたりしています。年齢・性別・国籍などで多様化した社会を表現したりSDGsや「持続可能な」などの言葉で社会に目を向けさせたりしています。カラーユニバーサル視点による配慮やユニバーサルデザインフォントの採用により、多様な配慮をした表記表現となっています。安全や環境などについて、別枠で囲い、マークで提示し、より意識しやすいようになっています。

最後に「総括」いたします。

東書は、様々な視点からの資料やコンテンツが豊富で、実際に見たり体験したりできなくても教科書から学び取る工夫がされています。また、児童の思考にあった学習の流れで題材が構成され問題解決的な学習ができるように配慮されています。

開隆堂は、多様なコンテンツを用意しつつ見やすいレイアウトで、文章量等分量が学習内容に対して適量です。題材の構成が細分化され、スモールステップで取り組むことができ、基礎的・基本的な内容の定着が図れるよう工夫されています。

議長	<p>以上が家庭科の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>ご説明ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>どちらの教科書も写真や動画が豊富だということはよくわかりました。開隆堂の方に、136ページに中学校での学習が記載され、中学校との連携がありましたが、東書の方はどうなのかが一点、それから2社なのですが、他教科との連携がどこかに書かれているのか、お願いします。</p>
家庭部会長	<p>東書、開隆堂とも、中学校への繋がり、他教科との関連が巻頭のところにのっており、どちらもございます。</p>
委員	<p>家庭科の中で消費者教育等が重要視されていると思いますが、記述等で工夫されているところがあれば教えてください。</p>
家庭部会長	<p>消費者教育ということで、述べられていること、また形態等の挿絵等も入った学習内容になっています。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。その他ございますか。</p>
委員	<p>環境問題等に繋がるような記述はありましたか。</p>
家庭部会長	<p>SDGs という書き方で両社とも書いてありました。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。その他ございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>5年生のほうれん草のゆで方についてやったりしたのですが、教科書の手順がしっかりしているんだなと感じました。子どもたちもその本を見ながらやっていて、これがあれば私もできるかなと、保護者の立場で思いました。</p>
議長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>4社ともあるのですが、生活の見方・考え方4つの視点ということでピックアップされているのが印象的で、開隆堂のクローバーがすごく見やすかった。また東書の成長の記録というのが具体的に見えるので、2年間継続して使っていくよさを感じました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>カラーユニバーサルデザインに配慮したデザインということで、大変見やすくなっているなど感心しました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
議長	<p>続いて、保健となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>

体育（保健）部会長

体育科 保健についての研究報告をいたします。

東京書籍「新しい保健」について報告いたします。大きく「内容」と「総括」につきまして、申し上げます。

まず、内容につきまして、5点申し上げます。

1点目は、各項の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう、4ステップ「気付く・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」で構成されており、ステップ4の「まとめる・生かす」では、学習の要点を整理する等、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されております。

2点目は、「深める・伝える」では、学習したことをもとに、他の事例や自分の生活と関連付けて考える記述欄があり、それらを踏まえて他者と伝え合えるように工夫されております。

3点目は、各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」が明示されています。課題を明確にすることで、「学習の課題」をより自分のこととして捉え、学びに向かえるように工夫されております。

4点目は、生活と関連付ける「深める・伝える」や自分の生活やこれからの学習にいかす「まとめる・生かす」のコーナーがあり、実践的に理解を深めるための工夫がされております。

5点目は、中学校の内容を「はってん」の中に資料として掲載し、小中学校の学習内容を系統的に指導できる工夫がされております。

総括として、課題解決的に学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されております。

続きまして、大日本図書「たのしい保健」について報告いたします。

まず、内容につきまして、5点申し上げます。

1点目は、各項の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう、「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」で構成されております。また、各単元末に学習内容を振り返りながら確認できる問題を設定する等、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されております。

2点目は、「活かそう」では、学習したことを生活に活かすことができるような問いかけがあり、自分の考えを表現できるように工夫されております。

3点目は、導入の活動「つかもう」では、児童に身近な題材を取り上げ、自分の生活について振り返ったり、考えたりする活動を通して、意欲的に取り組めるように工夫がされております。

4点目は、学習内容を確認できる「〇年のまとめ」、毎日の生活でいかす「活かそう」や「家・地域でほけん」のコーナーがあり実践的に理解を深めるための工夫がされております。

5点目は、中学校の内容を「はってん」として掲載し、中学何年生で学習するかを示すことで中学校への接続が図られております。

総括として、学習したことをもとに、自身の考えを記述したり、他者と対話したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されております。

続きまして、大修館「新 小学校保健」について報告いたします。

同様に内容につきまして、5点申し上げます。

1点目は、各項の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう、「課題をつかむ」（主体的）→「課題解決活動」（対話的）→「まとめ」（深い学び）の3ステップで構成されており、毎時間の最後には「ほけんクイズ」（QRコード）を用意する等、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫がされております。

2点目は、毎時間の学習の最後に設けた「まとめ 活かそう 伝えよう」では、これからの生活にいかしたいこととその理由を記述する欄を設け、学んだことを自己の生活と関連付ける工夫がされております。

3点目は、「生活の中の保健をさがそう」では、保健の学習が身近な生活の中と関連していることに気づかせることで、自分の健康や安全に進んで取り組む態度が養えるよう工夫がされております。

4点目は、一単位時間中に「考えよう」「話し合おう」「生かそう伝えよう」の構成がされており対話的な活動を促し、理解を深めていく工夫がされております。

5点目は、「体育の窓」を中心に、運動領域の学習内容を取り上げたり、スポーツ選手の言葉から健康の大切さについて学ぶページがあったりと工夫がされております。

総括として、自己の生活から課題について考えることで、主体的に学習に向かうことができるように工夫されております。

続きまして、文教社「新わたしたちの保健」について報告いたします。

同様に内容につきまして、5点申し上げます。

1点目は、各項の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」で構成されております。また、児童の意識の流れがスムーズにいくよう学習課題に順序性をもたせる等、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されております。

2点目は、「わたしの〇〇宣言」では、学習したことをもとに、何ができるのか、自分にはどんな方法が適しているのかを理由を付けて記述し、話し合いながら考えを深められるように工夫されております。

3点目は、「本時のメニュー」で見通しをもたせ、「ミッション」（学習内容）と「ステージ」（学習活動）で一単位時間の授業が構成されており、児童が意欲的に取り組めるように工夫がされております。

4点目は、学習したことをもとに、もっと深く考える「もっと考えよう課」のコーナーや情報のリンク先「もっと知るところ課」があり、理解を深めるための工夫がされております。

5点目は、各単元末の「わたしのけんこう宣言」、「わたしのすくすく宣言」等で、運動と健康を関連付けた目標が記述できる工夫がされております。

総括として、課題を明確にし、課題解決的な学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されております。

続きまして、光文書院「小学保健」について報告いたします。

内容につきまして、5点申し上げます。

1点目、各項の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう「生活を振り返る」→「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」の5段階で構成されております。また、各章末に「学習のまとめ」を設ける等、基礎的・基本的な学習内容が習得できるように工夫されております。

2点目、「学んだことを生かそう」では、自分の生活を振り返って見直す活動を行い、実生活において学んだことが活かせるように工夫されております。

3点目、各章の扉に学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載したり、単元冒頭にて、自分の生活を振り返った上で課題を確認したりすることで、学習意欲を高められるように工夫がされております。

4点目は、身近な課題を考える資料「さらに広げよう・深めよう」では、児童の理解を助ける「特別インタビュー」等、各種コーナーが充実しており、理解を深めるための工夫がされております。

5点目、「はってん」では、中学校の学習内容を資料等で示すことで、小中学校の学習内容を系統的に指導できる工夫がされております。

総括として、ストーリー形式のイラスト、動画やウェブサイト等、学びを広げ、深めるための資料等によって、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫がされております。

最後に、学研の教科書「新みんなのほけん 新みんなの保健」について報告いたします。

内容につきまして、5点申し上げます。

1点目、各項目の内容が主体的・対話的で深い学びとなるように、「課題をつかむ」「自ら取り組む」「対話的な活動」「活用」が見開きで構成されており、知識および技能が習得されるように工夫されております。

2点目、「自分で考える」「友達やみんなと考える」「活かす」の構成によって自分の考えを形成したり、深められたりできるように工夫がされております。

	<p>す。</p> <p>3点目、各単元の導入に、具体的な例を挙げて考えさせよるような活動が組み込まれているので、子どもたちが見通しをもって学習に取り組むことができ、主体的に取り組むことができるように工夫されています。</p> <p>4点目、「ほけんのはこ」で、健康・安全に関する内容がプラスアルファで掲載されているため、子どもたちが論理的に内容を理解することができるように工夫されております。</p> <p>5点目、各病気の内容や原因となる事項が細かく掲載されているため、子どもたちが病気にならないようにしようという考えを促すように工夫されております。</p> <p>総括として、自分の考えや気づいたことを記入していく欄が多くあるので、子どもたちは自分の考えを自由に表現することができます。そのため、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がされております。</p> <p>以上で、体育科 保健についての研究報告を終了いたします。</p>
議長	ご説明ありがとうございました。質問はございますか。
委員	感染症ということで、新型コロナウイルスについては、各社とも載っているということでしょうか。
体育（保健）部会長	はい。
議長	その他ございますか。
委員	説明の中で教科書ではあるが、書き込みをしながら進めていけるような特徴があるというお話もありましたが、これは多くの教科書にそのような工夫がされているということでしょうか。
体育（保健）部会長	<p>はい。多くの教科書に記入する欄があるという捉えでございます。</p> <p>先ほどの質問で、新型コロナウイルスが全教科書に載っていますかということでしたでしょうか。すみません、把握しきれていないところがありますので、はいと答えてしまいましたが、訂正させていただきます。</p> <p>すべてのところまで調べてくるということでしょうか？</p>
議長	新型コロナの表記があるものもあるし、ないのもあるという認識でよろしいでしょうか。確認をしないと答えられないというところでしょうか。
体育（保健）部会長	<p>はい。教科書がありますので、今確認します。</p> <p>あります。</p>
議長	<p>すべての教科書に新型コロナウイルスの表記があるということですね。ありがとうございます。</p> <p>もう一つの質問は大丈夫でしょうか。</p>
体育（保健）部会長	<p>書き込みはすべてにあります。</p> <p>それではそのほかに質問はございますでしょうか。</p>
委員	健康ということで、教科書で学び、また子どもたち自身が学びをさらに課題をもって生活できるようになっていくのですが、課題解決学習のような形で教科書が組み込まれているという話もありましたが、見ていて特徴的なところがあれば教えてください。
体育（保健）部会長	特に、主体的対話的で深い学びとなるように、細かいステップ5段階で形成

<p>長</p> <p>議長</p>	<p>されている教科書がありました。そういったところでより子どもたち自身で学びに向かうことができるのではないかという話をしました。</p> <p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>外国語（英語）部 会長</p>	<p>続いて、外国語となります。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>外国語につきましては、今回の採択より、紙の教科書だけでなくデジタル教科書が本格導入されますことから、県の様式にはございませんが、今回の調査研究において、独自にデジタル教科書の欄を設けてあります。</p> <p>はじめに、東京書籍「NEW HORIZON」です。</p> <p>第1に内容につきましては、各単元の目標達成に向けて、スパイラルに活動が配置され、5領域がスモールステップで バランスよく扱われています。各単元の主な表現は「Let's Chant」や「Small Talk」等で繰り返し扱われ、文構造等の気付きにつながるよう工夫されています。書く活動を重視しており豊富な書き込みスペースがあります。</p> <p>第2にデジタル教科書につきましては、書き込み機能が充実しており、拡大して書き込むことができます。また2画面表示機能を使って、本体と「My Picture Dictionary」を同時に表示することができます。調べ学習に最適なDigital Mapがあり、児童に合った学びが選択できます。</p> <p>第3に、資料につきましては、別冊の「My Picture Dictionary」の空欄のカード欄へ記入できるようになっており、自分だけのオリジナル絵辞書を作ることができます。</p> <p>第4に表記・表現につきましては、語表記の第2線と第3線の間がやや広くなっており、第3線は青色で区別されています。</p> <p>次に開隆堂の「Junior Sunshine」でございます。</p> <p>第1に内容につきましては、各 Lesson、8時間の配当時間で統一されており、バックワードデザインで第1時からスモールステップで資質能力を育てられるよう工夫がされています。また、巻末にある「CAN-DO チェック」では、児童自身が「何ができるようになったか」を確かめ、自らの成長や課題に気付き、学習を調整する力や学習に見通しをもって取り組む態度を育てる工夫があります。</p> <p>第2にデジタル教科書につきましては、5、6年を通して学習する53の多様な歌とチャンツも、同世代の子どもたちの日常生活を題材とした英語のアニメーションも、QR コードで児童が自由に見たり聞いたりすることができます。再生速度は4段階で調節可能です。</p> <p>第3に資料につきましては、巻頭には、児童が自分で学習を見通せるよう8時間の学習の流れや学習の目的を掲載しています。</p> <p>第4に表記・表現につきましては、学習者支援機能として紙面読み上げ音声機能がついています。画面の文字の大きさや色、行間の調節も行うことができます。</p> <p>続きまして、三省堂の「CROWN Jr.」でございます。</p> <p>第1に内容につきましては、各 Lesson のチャンツや Small Talk などの各活動により、インプットの内容が非常に充実しています。Story Time では児童が今まで体験してきたであろう童話等が英語の音声で聞けるようになっていま</p>

す。イラストごとに音声を聞くことができるので、繰り返し聞いてみたり、聞こえた音声を皆で確認したりすることによって児童の学習に対する意欲を高める工夫がなされています。

第2にデジタル教科書につきましては、パノラマや My dictionary などの単語の音声を聞いたりゲーム感覚で学べる単語学習ができたりします。Let's play には「活動のしかた」が PDF で確認できるようになっており、指導者が活動の説明をしやすくなるように工夫されています。

第3に資料につきましては、Story Time が5年生では5つ、6年生では6つ設定されています。イラスト付きで児童が内容を類推しやすく工夫されています。

第4に表記・表現につきましては、Lesson の活動が定位置に配置されており、配慮を必要とする児童を含む全ての児童が学習しやすい構成になっています。

続きまして教育出版 「ONE WORLD Smiles」でございます。

第1に内容につきましては各 Lesson の最後に Final Activity が設定されており、個に応じた、各児童の能力にあったアウトプットの機会が設けられています。Lesson で学習したことの内容が習得できたか確認できる工夫がなされています。3・4年生の外国語活動の構成を意識し、5・6年生の外国語の授業がスムーズに行えるつくりとなっています。

第2にデジタル教科書につきましては、デジタル教科書内にポインターや書きこみができるようになっており、デジタル教科書を大型提示装置で投影したらすぐに授業ができるプラットフォームが使用されています。

第3に資料につきましては、ワークシートも巻末に付録としてあり、切り離せるようになっているので、授業準備が容易になるような工夫もされています。

第4に表記・表現につきましては、Dream World Tour といった世界の国々や名所・名物などが写真やイラストで表現されており、それぞれの国に対する愛着が生まれるように設定されています。

続きまして 光村図書「Here We Go!」でございます。

第1に内容につきましては、世界の12カ国の実際の小学生の話聞くことができ、多様性に気づき、様々なものの見方ができるように工夫されています。各学年の最後にプロフィールシートがあり、年間を通じて書き込むことで、自分のことについて英語で紹介できるようになっています。

第2にデジタル教科書につきましては、アニメーションがあり、推測しながら聞くことができる工夫がされています。スクロール機能を活用することで、3ページ分を同時に確認することができ、次のページでの確認もしやすく設定されています。

第3の資料につきましては学年ごとに picture dictionary があり、絵や写真での意味を示しています。2年間を通じて多くの単語にふれることができますし、一部には日本語訳もついています。

第4の表記・表現につきましては、英語表記の第2線と第3線の間がやや広くなっており、第3線は青色で区別されています。また、それ以外は薄い灰色で示されています。

最後に啓林館「Blue Sky elementary」です。

第1に内容につきましては単元の導入では、イラストを見て場面や言葉の意味を推測させる工夫があります。またそれぞれに会話のヒントの欄として「Tips」の部分があり、コミュニケーションを円滑に進めるためのヒントが示されています。チャンツは、英文やアクセントを載せて言語材料の使用場面や、児童が目指すゴールのイメージをアニメーションで提示しています。

第2にデジタル教科書につきましては、英語を選択して文を作る「英文 Maker」があり、その音声を聞くことができます。また、3択「単語クイズ」があり、単語の定着を図ることができます。再生速度は6段階あり、視聴できるコンテンツが充実しています。

第3に資料につきましては巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」巻末

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>外国語（英語）部 会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>外国語（英語）部 会長</p> <p>議長</p>	<p>には「会話を楽しむフレーズ集」があり、前学年までに学んだ内容が復習できたり、世界の SDGs に関する取り組みがクイズ形式になっていたりしています。</p> <p>第4に表記・表現につきましては、5年教科書の最初にへボン式ローマ字表が記載されています。QR コードがそれぞれのコンテンツごとについており、さまざまなコンテンツを利用することができます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ご説明ありがとうございました。質問はございますか。</p> <p>実際に担任の先生が英語の授業をするにあたって、要するに免許をもっていない先生でも、ここが使いやすいというような売りのような部分はありますか。</p> <p>今回紙とデジタルの併用になるということで、その点からも確認はしましたがデジタル教科書のデモに関しては、各会社まだ未完のところがございます。全部を見通せているわけではございません。今の採択されている教科書と比べてみますとコンテンツも充実しておりますし、今の採択されている出版社もさらに使いやすくなっています。基本的に、専門的なものでなくても使いこなせるのではないかと思います。</p> <p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p> <p>英語の学習の中で、伝えることは非常に大切なことだと思いますが、教科書の中で工夫されていること、気づいたことはありますか。</p> <p>それぞれ特色はありますが、アウトプットよりインプットを重視している出版社もありますし、非常に書くところも重要視している出版社もありますが、書くところも、日本語で記入する部分、例えば発表する前に子どもたちが自分の考えをまとめるのにメモができ、それを英文にしていくという、手元に自分の考えを非常に多くとっている出版社もございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>特別の教科（道徳）部会長</p>	<p>続いて、道徳となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>失礼いたします。それでは、「道徳科」小学校版における研究調査の結果につきまして、御報告いたします。なお、時間の都合上、1社あたり、1分程度の説明となりますのでご承知おきください。</p> <p>資料をご覧ください。</p> <p>はじめに、東京書籍「新編 新しい道徳」でございます。大きさはA B判です。</p> <p>現代的な課題として、「SDGs」「コロナ禍での差別」「情報モラル」「いじめ問題」等を取り上げ、児童が自分の生活と重ね合わせながら考えられるようにしています。いじめの問題は繰り返し考えられ、法律から考え視点を広げられるようになっていきます。</p>

ねらい達成のための工夫として、朗読音声流れるスライドショーなどがQRコードで用意されています。教材ごとに発問が2つずつ書かれており、児童が自ら考えられるようになっています。

考え、議論する道徳として、教材後の「つながる 広がる」が充実しており、自分ごととしてとらえたり見方を広げたりできる活動もあります。また、挿入されている写真も効果的です。

2社目は、教育出版「小学道徳 はばたこう明日へ」でございます。大きさは、AB判です。

現代的な課題として、「SNS いじめ」「ネット上の友達」「情報モラル」「不審者対応」等を取り上げ、児童の発達段階や生活環境に即して様々な視点で問題に対して考えられるようになっています。

ねらい達成のための工夫として、教材ごとに「考えよう・深めよう」があり、自ら考えられるようになっています。また、教材の解説や関連図書の紹介などのQRコンテンツが掲載されています。

考え、議論する道徳として、教材ごとに話し合いたいこと、考えたいことがわかるようになっており、教材の最後には、「しっかり考えられた」「新しく気づいたこと・したいことがあった」「大切にしたいことがわかった」と、考えを整理し、ふり返るページがありました。

3社目は、光村図書「道徳 きみが いちばん ひかるとき」でございます。大きさは、B5変型判でAB版より横が2センチ短くなっています。

現代的な課題として、「ヘルプカード」「環境問題」「いじめ問題」「コロナ禍での差別や生活」等の教材があり、自分の生き方と関わらせながら自分のこととしてとらえる工夫がされています。

ねらい達成のための工夫として、教材ごとに「考えよう・話し合おう」、「つなげよう」があり、学びを深める手立てとして参考になっています。また、動画や音声朗読などがQRコードで用意されています。

考え、議論する道徳として、「こころをかよわそう」「道徳で使う言葉」など、話し合い方を学ぶことができるページがあります。また、学びの記録があり子供の達成感が分かるようになっています。

4社目は、日本文教出版「小学道徳 生きる力」でございます。大きさは、AB判です。また、別冊で「小学道徳 生きる力道徳ノート」もついております。

現代的な課題として、「SDGs」「いじめ防止」「キャリア教育」「防災教育」「情報モラル」等の教材があり、自分との関わりから考えを広げられるようになっています。

ねらい達成のための工夫として、内容項目が児童向けのわかりやすい言葉で書かれているため、児童の学習の手掛かりとなっています。リード文と主な登場人物について書かれているため、考える時間も確保できます。また、資料やワークシートがQRコンテンツで用意されています。

考え、議論する道徳として、道徳ノートがあるので、考えたことの記録が蓄積されます。また、葛藤場面がわかりやすい題材では多様な考えが出され、深まっています。

5社目は、光文書院「小学道徳 ゆたかな心」でございます。大きさは、AB判です。

現代的な課題として、「生命の尊厳」「自然」「共生社会」等が低学年の教材から入っており、発達段階に応じて考えを深めていけます。「情報モラル」や「SDGs」のコラムもわかりやすい言葉で書かれています。

ねらい達成のための工夫として、教材のはじめに本時に考えることについて書かれており、見通しをもった学びができるようになっています。QRコードから写真や動画など教材理解を支援する資料が見られます。

考え、議論する道徳として、学年に応じた思考ツールが紹介されており、絵や図を使って思考を深める工夫がされています。学校生活のことや親しみのある教材等から、自分ごととして考えやすく、よりよい人間関係が築けるように工夫されています。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>特別の教科（道徳）部会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>特別の教科（道徳）部会長 議長</p>	<p>6社目は、Gakken（がっけん）「新版 みんなの道徳」でございます。大きさはA B判です。</p> <p>現代的な課題として、「情報モラル」「SNSいじめ防止」「共生」「国際理解」等を扱った教材が充実しています。人物の生き方、児童の生活にかかわることなども取り上げられ、学習意欲を喚起できるよう工夫されています。ねらい達成のための工夫として、教材冒頭では、キーフレーズが掲載されており、児童が主体的に考えられるよう工夫されています。資料やワークシート等がQRコードで用意されています。</p> <p>考え、議論する道徳として、巻頭に一年間の学びの全体像や自分の考えを深めるポイントの掲載や「心のパスポート」のページで考えたことや自分の気持ちの変化などを記述することにより、学んだことを自分ごととしてとらえ学習をふり返る工夫がされています。</p> <p>以上が、道徳科の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>ご説明ありがとうございました。質問はございますか。</p> <p>道徳の中で、考え議論するということろで、銀論するための表記の工夫は教科書の中でありましたか。</p> <p>教科書によって教材の最後に、視点となる考えよう、つなげよう、広げようということがあったり、巻末に振り返りがあったり、今までと継続してそれを考えていくというものがあったりという工夫がありました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>いじめのことを考えたり、SDGsのことを考えたり、また現代的な課題として情報モラルについても多くの教科書で取り上げられているということによりよいでしょうか。</p> <p>はい。低学年から発達段階に応じて取り上げられています。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>特別支援部会長</p>	<p>続いて、特別支援となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>特別支援教育の教科用図書の研究結果について、御報告を申し上げます。教科ごとに御説明いたします。はじめに「こくご」です。</p> <p>「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」では、書くことにおいて、なぞり書き、一筆でかけるひらがな、50音、カタカナと段階的に進められるよう構成が工夫されています。また、文字習得のポイントがイラストで描かれていることでイメージしやすくなっています。段階が上がるにつれて、電話の対応をはじめとする社会生活に必要な力の基礎を養うことができる構成となっています。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」では、劇やペーパーサークルなど友達と表現する楽しさを味わうことができる題材が扱われています。また、生活の中で様々な伝えたいことを表現する場面、例えば誕生日カード、年賀状などを作成する場面が題材として扱われていて、表現する意欲を持たせやすいものとなっていました。</p>

「学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫」では、簡潔な説明やイラストでイメージがつかみやすく見通しがもてる構成であることがあげられます。また身近なもの、季節感があるものなどイメージしやすく、意欲を喚起する構成になっています。

「読書に親しむ態度を育成するための工夫」では、文章のリズム、楽しそうな挿絵で、読んでみたくなる、読んで楽しくなるようつくりされていることがあげられます。

資料の工夫では、児童が直接書き込める吹き出し、各巻末にあるひらがなやカタカナやローマ字の一覧があります。また、挿絵や写真が色彩豊かであることもイメージを豊かにすると思われれます。表記・表現の工夫では、ルビの標記が使われている点や分かち書きがされている点があげられます。

総じて、児童にとって、国語への関心が高まり、主体的な学習態度が育まれ、人とのコミュニケーションが円滑になる伝えあう力を養い、伸ばすことにつながっていく教科書となっていると考えます。

続きまして「さんすう」をご覧ください。

「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」では、星1から段階的に、大きい小さい、多い少ないについて形、長さ、量の概念を学ぶことができるようになっています。いずれも数と関連づけることができるよう具体物を通して学ぶつくりとなっています。絵や写真が多く使われており、触ったときに凹凸を感じることができる工夫もあります。また、単元構成に一貫性があり、児童がつまずいても、すぐ前にもどることができるよさがあります。また、書き込める部分も増えて、学習の振り返りに役立ちます。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」では、社会生活上必要なお金の学習において、紙幣やレシート等を用いて、思考、判断しやすくなる工夫があります。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」では、家庭生活や学校生活の場面が題材として扱われているため、意欲を喚起させるつくりとなっています。

「数学的活動を充実させるための工夫」では、実生活の中の出来事に関連づけて学ぶようつくりされていることがあげられます。

資料では、凹凸や透明なシート、フィルムが使われており、児童がめくりやすい素材が使われています。また、書き込みやすいようつくりされています。表記・表現では新しい記号、単位などが太字で書かれている工夫がありました。

総じて、児童の数量的な感覚を豊かにし、興味・関心をもって数量や図形についての理解の必要性を感じながら、力を高めていくことができる教科書となっていると考えます。

続きまして、「おんがく」です。

「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」では、児童が親しみを持てる曲が選ばれています。発達段階に応じて、音楽に合わせて、体全体を動かして楽しむことができるよう曲が選定されています。また、おもちゃや打楽器から始まり、徐々にリズムをとって演奏できるような構成になっています。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」では、鑑賞教材の優しい色の絵や写真などを多く用いることで想像力をかきたて、表現する力を高めることができるようになっています。

「学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫」では、主体的に学習に取り組ませるための工夫として、歌の一部を口ずさめるような繰り返しの多い曲から、独唱・斉唱・簡単な輪唱へつながるような構成となっています。また、扱う題材は、児童の興味・関心があること、情操を豊かにすること、情緒の安定を図ること、身体表現を活発にすること、自己表現活動ができること、創造的な音楽活動ができることを考慮していることがあげられます。

資料の楽譜は、鍵盤と同じ色で塗られており、文字が読めなかったり、楽譜を追うことが難しかったりする児童が取り組みやすいよう工夫されています。また、表記・表現は、文字が少なく、絵や写真で表記されています。さら

に漢字には、必ずルビがふってあります。

まとめますと、知的な課題がある児童生徒にとって、情緒の安定、注意の集中、集団参加や協力の態度の育成を図ることは極めて重要であり、その目的を果たす上では音楽の果たす役割は大きいと考えられます。この教科書は、題材の取り上げ方、曲の選定が考慮されていて、絵や簡潔な文章はイメージをもたせやすいものでございます。よって、音楽によって生活を豊かにすることができる教科書であると考えております。

続きまして、「せいかつ」です。

「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」では、1日の流れや学校生活の約束がわかりやすく絵で視覚的に認識しやすいよう作られているとともに、スモールステップで段階的に学ぶことができるようになっている点、そして生活のきまりやマナーは繰り返し扱われる工夫があげられます。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」では、児童がイメージを膨らませやすくなるよう、絵や写真が多く使われている点があげられます。また、絵に描かれた登場人物の表情からも想像力を働かせることができるようになっている点があげられます。

「学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫」では、児童の意欲が喚起されるような楽しそうで、活動も容易に想像できるようなつくりになっています。また、集団生活に欠かせないルール、マナー、友達との関わり方についてまで繰り返し扱われている点があげられます。

「具体的な活動や体験をとおして気付きの質を高めるための工夫」では、季節の違いや移り変わりを自然と感ずることができるような構成に整理されている点があげられます。また、実生活の目まぐるしい変化にも対応できるよう、最新の写真が使われていて、学校での学びと生活がうまくリンクするよう構成されている点もあげられます。

資料では、生活で必要不可欠な大切なことが自然と身につくよう、繰り返し登場しています。また、巻末に掲載された写真は家庭や地域での体験活動のものとなっています。

表記・表現ですが、絵だけで構成されたページも含めてどのページも余白部分が多く残されていて、とても見やすいつくりとなっています。言葉はどれも短く適確な表現となっています。地震や災害などが扱われている点も特筆すべきところと考えます。

総じて、知的障がいのある児童が自分自身、友達、自然、社会生活のよさと関わり方にきづくことができ、生活がより豊かになるよう、考え、表現できる力の基礎を伸ばす教科書となっていると考えます。

以上で報告を終わります。

議長

ご説明ありがとうございました。質問はございますか。

ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。

ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。

委員

特別支援学級で主に使われる教科書であります。様々な子に対応することで工夫が凝らされているなどと思います。だれ一人取り残さないということで久喜市で取り組んでいますが、学びのさまざまに対応できるということで星本の採択ができるとありがたいと感じます。

議長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

では、この投票フォームに書いてありますように、特別支援につきましては、採択は児童と生徒の実態に合わせて使用するにふさわしいかどうかを判定し、入力いただけたらと思います。

議長	<p>最後に「音楽」です。 専門部会長の入室をお願いします。 説明をお願いします。</p>
音楽部会長	<p>それでは小学校音楽科の教科書の説明をさせていただきます。最初に、小学「音楽 音楽のおくりもの」（発行者名 教出・発行者番号17）についてご説明いたします。</p> <p>この教科書の内容について、特徴的な部分を教科書の実際のページを開きながらご説明いたします。</p> <p>まず、＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞について申し上げます。</p> <p>教出1年（P.6.7）を御覧ください。領域・分野ごとに系統的に題材が配列され、学習事項の確認ができるように見開きごとに「学習のめあて」や音楽を形づくっている要素「音楽のもと」が示されています。</p> <p>歌唱では、拍感やリズムのスキルを定着させるような教材が掲載されており、器楽では、多くの写真やイラストを用いて双方を示し、音楽あそびから自然に学び進められるよう工夫されています。また、新しい指使いについては写真で示されています。</p> <p>続いて＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞について申し上げます。</p> <p>教出1年（p.21）を御覧ください。「まなびナビ」という方位磁石に似たアイコンで、子どもたちの見通しを持たせ、5年（p.26.27）「学び合う音楽」で学び方を例示しています。また、子どもの気づきや思いを引き出すような発問例が示され、児童が深い学びへとつなげられる工夫がされています。</p> <p>教出6年生（p.80）を御覧ください。「音楽を表すいろいろな言葉」が設けられ、児童が思考を深める助けとなったり、音楽を捉えて伝え合う手立てを増やしたりできるように工夫されています。</p> <p>続いて、＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞について申し上げます。</p> <p>教出5年（p.4.5）（p.78）を御覧ください。1年間の学習の見通しをもつことができるよう作られています。「学習マップ」「学習の進め方」や1年間の学習を振り返ることができるよう工夫されています。また、『音楽のもと』まとめが設けられ、児童が主体的に学習に望むことができるようにこちらも工夫されています。</p> <p>続いて＜生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞について申し上げます。</p> <p>教出6年（p.38～p.45）我が国の伝統的な楽器や民謡、諸外国の音楽などの多様な曲種の鑑賞や表現を通して、生活と音楽の関わりについて考え、多様な文化に触れることができるように配慮されています。</p> <p>続きまして、資料についての特色をご説明申し上げます。</p> <p>教出3年（p.40）を御覧ください。教材に合わせた写真（折込を使ったワイド紙面）や学習内容に沿った図やイラストが使用され、視覚的に理解しやすいように工夫されています。</p> <p>教出5年（p.15）を御覧ください。QRコード（まなびリンク）が示され、学習に対応した資料がWEB上に用意されており、主体的に学べるよう工夫されています。</p> <p>教出5年（p.65）を御覧ください。高学年では、持続可能な社会のために音楽を通じて何ができるかを考える題材にSDGsマークが示されています。</p> <p>続きまして、表記・表現の特色についてご説明申し上げます。</p> <p>教出1年（p.38）5年（p.54）を見比べて御覧ください。児童の発達の段階に応じて楽譜や文字の大きさが配慮されています。</p> <p>また、線や図形などを楽譜に見立てて表現できるような資料が掲載されています。教出3年(P.35)教芸3年(P.39)</p> <p>教出6年（p.81）を御覧ください。音符や休符、記号などは各教材の別枠</p>

に示されているほか、巻末にも掲載されております。

教出6年 (p. 34) を御覧ください。歌唱や器楽が同時に表現される楽曲において複数段で示されるととき格段にパート名や楽器名が表示されております。

最後に総括です。

児童の興味関心を高められる幅広い楽曲が選曲されていることが伝わる教科書でございます。線や図などを楽譜に見立てたりスコアが掲載されていたりすることにより、音楽の構成を視覚的に捉えられ、深い知識につながる工夫がされていることがわかります。さらに、題材の配列が工夫され発展的に学習を進めることができ、各学年での学びの積み重ねから、多様な音楽を幅広く身に付ける工夫がされている特徴がございました。

以上、小学音楽 音楽のおくりもの（発行者名 教出・発行者番号17）について御説明いたしました。

次に、小学生の音楽（発行者名 教芸・発行者番号27）についてご説明申し上げます。

まず、＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞について申し上げます。

教芸1年 (p. 6.7) を御覧ください。領域・分野ごとに系統的に題材が配列されており、学習事項の確認ができるよう見開きごとに「題材のねらい」や音楽を形づくっている要素が示されています。また、右上の QR コードから楽曲を再生することができます。

教芸1年 (p. 38) を御覧ください。歌唱、器楽ではイラストや写真で視覚的に働きかけ、その都度確実に双方を身につけて学び進められるように工夫されています。また、新しい指使いなどはイラストで示されております。

次に＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞について申し上げます。

教芸5年 (p. 19) を御覧ください。「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のアイコンが示され、児童が思いや意図をもって表現や鑑賞の授業が進められるように工夫されております。

また、児童の作品例や考え方の例が吹き出しで示され、児童が表現に対して思い意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聞いたりすることができるよう配慮されていることがわかります。

次に＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞について申し上げます。

教芸5年 (p. 4.5) を御覧ください。1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」や、(P82.83)にありますように1年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」が設けられ、児童が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されております。

また、児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にあるさまざまな音や音楽への関心を促す教材や特集が掲載されております。

次に、＜生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞について申し上げます。

教芸6年生 (p. 23) を御覧ください。「音楽づくり」で思いや意図をもって表現できるように、学習の手順や工夫の視点がアイコンや吹き出しなどで示され、児童の考えを吹き出すように工夫されております。また、書籍内にワークシート例が示され、児童の考え方をまとめやすいように工夫されております。

教芸6年 (p. 46～p. 49) を御覧ください。体験型の鑑賞学習や調べ学習のための資料が掲載されており、我が国や諸外国の音楽の表現や鑑賞を通して、多様な文化にふれることができるように配慮されております。

続きまして、資料についての特色をご説明申し上げます。

教芸3年 (p. 40) を御覧ください。学習活動のポイントが色の濃淡やイラスト、写真（撮影場所を明記）により区別・説明されているため、視覚的に理解しやすいように工夫されております。

	<p>教芸5年(p.17)を御覧ください。QRコード(ムーブの部屋)を読み取ることによって、音源や資料を活用でき、個別最適な学びをサポートできるように工夫されていることがわかります。</p> <p>教芸5年(p.54)を御覧ください。鑑賞教材で扱われる楽器や演奏法、コラムなどが見開きで示され、学習する際の手立てとなるよう配慮がなされています。</p> <p>続きまして、表記・表現の特色についてご説明申し上げます。</p> <p>教芸1年(p.42)5年(p.42)を比較してご覧ください。</p> <p>児童の発達の段階に応じて楽譜や文字の大きさが配慮されていることがわかります。この他、線や図形などを楽譜に見立てて表現できるような資料も掲載されています。教芸3年(P.39)</p> <p>教芸6年(p.84)を御覧ください。音符や休符、記号などは「かくふマスター」に示されているほか、巻末にも掲載されています。</p> <p>また、教芸6年(p.18)をご覧ください。色覚特性など様々な状態にある子どもたちが等しく学習が進められるよう、イラストの色調やデザインを工夫し、ユニバーサルデザインを全編に使用しております。</p> <p>最後に総括です。</p> <p>児童の発達段階に合わせたわかりやすく取り組みやすい楽曲が選曲されていることが特徴と言えます。</p> <p>また、QRコードを豊富に活用し、紙面上の楽譜や図形楽譜に対応する音源を聞くことにより、児童の深い知識につながる工夫がされています。さらに、ワークシートや学習の進め方が丁寧に示されており、児童も指導者も見通しをもって学習活動に取り組むことができる教科書であるという特徴が感じられます。</p> <p>以上、教育芸術社 小学生の音楽についてご説明申し上げます。</p>
議長	ご説明ありがとうございました。質問はございますか。
委員	非常にQRコードが多様には書かれていますが、QRコードは授業の中で今後かなり活用されているのでしょうか。
音楽部会長	タブレットから読み込めるとは思いますが、教芸のQRコードは細かくついていますが、単旋律がそれになってくれているので、楽譜を見ても何が書いてあるかわからない子も、そのQRコードを使ったらどんな音楽がそこに書かれているかわかります。教出では、単旋律を乗せるということよりもアニメーションの資料等が載っており、同じQRコードでも意味合いが違うかなと思います。
議長	<p>その他ございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは投票フォームにご入力をお願いします。</p>
議長	<p>それでは、以上で調査研究報告を終了いたします。</p> <p>次に、投票に移ります。これから小学校教科用図書の投票を行います。</p> <p>それではここで、傍聴人には一時退席をお願いしたいと存じます。</p> <p>《非公開》</p>
	傍聴人の入室をお願いします。

議長	それでは、事務局より、小学校の投票結果の確認をお願いします。
司会	<p>それでは、投票の結果を確認いたします。発行者番号 発行者略称 得点の順に読み上げます。</p> <p>国語 2東書16点 17教出15点 38光村20点 書写 2東書16点 17教出14点 38光村20点 社会（社会）2東書20点 17教出13点 116日文16点 社会（地図）2東書15点 46帝国20点 算数 2東書20点 4大日本14点 11学図13点 17教出13点 61啓林館13点 116日文16点 理科 2東書16点 4大日本13点 11学図20点 17教出14点 61啓林館14点 生活 2東書15点 4大日本12点 11学図20点 17教出14点 38光村16点 61啓林館13点 音楽 17教出15点 27教芸20点 図画工作 9開隆堂20点 116日文14点 家庭 2東書15点 9開隆堂20点 体育（保健）2東書16点 4大日本13点 50大修館14点 207文教12点 208光文17点 224学研20点 外国語（英語）2東書20点 9開隆堂16点 15三省堂12点 17教出12点 38光村12点 61啓林館12点 特別の教科（道徳）2東書16点 17教出13点 38光村12点 116日文12点 208光文12点 224学研20点 特別支援 2東書（こくご）○4つです。 17教出（さんすう）○4つです。 2東書（せいかつ）○4つです。 2東書（おんがく）○4つです。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本会の初めに事務局が申し上げましたが、ただいま発表された「選定委員会における投票結果」「各学校における調査研究の結果」の資料につきましては、久喜市教育委員会令和5年7月定例会に提出いたします。</p> <p>それでは、皆様の御協力により、無事議事を進行させることができました。ありがとうございました。</p>
議長	最後になりましたが、情報公開について事務局から説明があります。
事務局	<p>過日の第1回教科書選定委員会の中で承認されまじたとおり、「久喜市教科用図書選定委員会情報公開の基準に関する規程」に則りまして、情報公開を行ってまいります。なお、公開の時期につきましては、規程の9条に従いまして事務局が東部教育事務所へ報告する日の翌日以降とします。令和5年度は、東部教育事務所への採択結果の報告が8月24日ですので、翌日の8月25日以降の公開となります。</p>
議長	事務局案に御質問はありますか。
議長	なければ、この形で、情報公開をしていきたいと考えます。
議長	<p>規約規定により、議長の任を解かせていただきます。</p> <p>以後の進行を事務局お願いします。</p>
司会	<p>副委員長の富山様、ありがとうございました。</p> <p>それでは諸連絡を事務局より御説明申し上げます。</p>
事務局	<p>このあと、本日の結果を久喜市教育委員会7月定例会に提出いたしまして、委員長、副委員長から説明したのち、採択となると伺っております。本日の資料につきましては、この後、回収させていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>

司会	閉会の言葉を選定委員 籠宮 賢治 様、よろしくお願いいたします。
委員	これもちまして、令和5年度第2回久喜市教科用図書選定委員会を終了いたします。
司会	ありがとうございました。

上記の内容に相違ありません。

令和5年 8月 1日

久喜市教科用図書選定委員会 副委員長 _____ 富山 司 _____